

G-PORTER

携帶式 GPS 軌跡記錄器 GP-102+ ユーザーズマニュアル

GKEEPER
GPS-KEYCHAIN



第一章 GP-102+ 概要

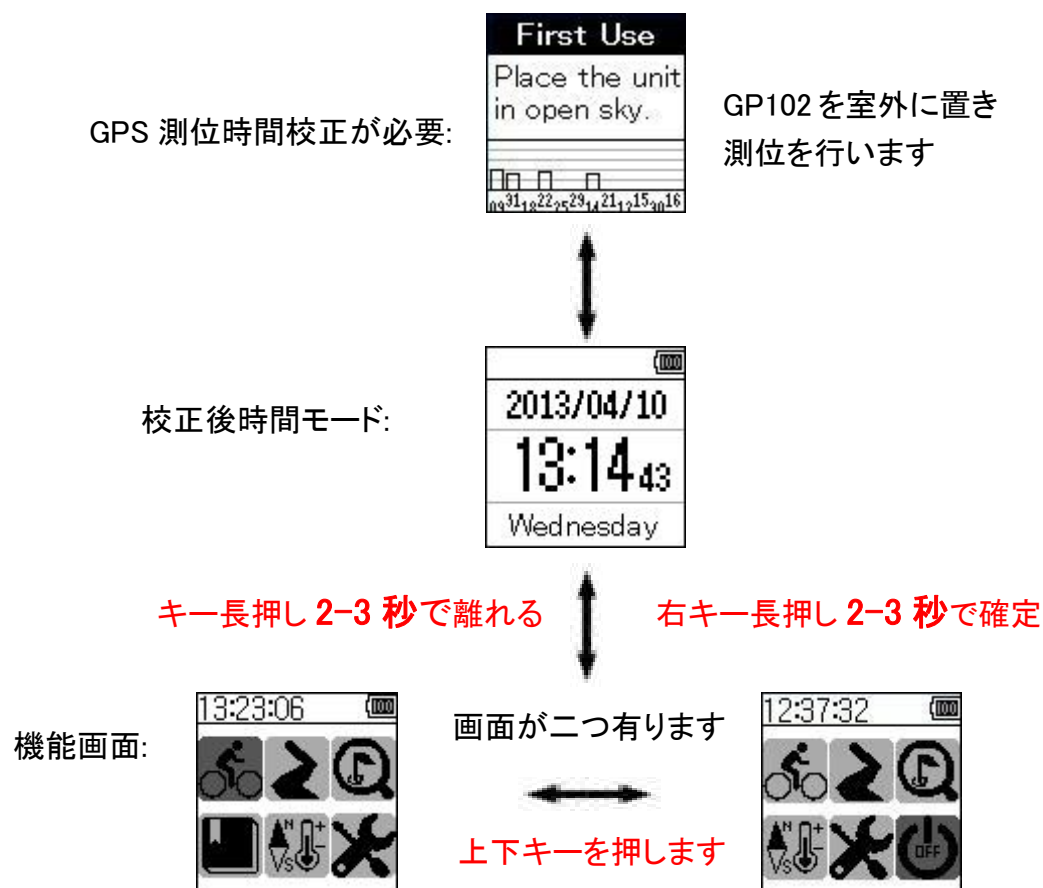
- GP-102+ は機能が最も完備された携帯式 GPS 記録器及び運動軌跡分析器です。操作原理は簡単ながら最も多くの機能を備えています。
- GPS 測位は SIRF STAR IV を使用しユーザーに最良の測位品質を提供します。
- GP-102+ 運動軌跡記録は様々な運動モードを選択して軌跡を記録でき、ソフトウェアに合わせて色々な運動分析が提供できます。
- GP-102+ は以前の軌跡を読み出すことができ、ユーザーは以前の軌跡移動に追従することができます。
- GP-102+ は事前にソフトウェアで旅行や運動軌跡を計画することができます。
- GP-102+ は多種の付属機能を内蔵しています。歩数計、気圧計、天気予報、水準器等。

プッシュボタン機能



第二章 GP-102+ 機能分岐図

一回目の右キー長押し:電源起動時に下記の画面が表示されます:



運動モードと軌跡記録



経路企画モード(PC ソフトウェアから入力する)



マークモード



過去データモード



付加機能モード(歩数計、気圧計、天気予報、水準器)



システム設定



電源 OFF(右キー長押し 2-3 秒)

第三章 運動モードと軌跡記録(を選択して右キー長押し 2-3 秒により下のように入ります)



右キー長押し 2-3 秒で下記の運動モードに入ります



運動旅行モードの選択

以下  を例にとり、 を選択して右キー長押し 2-3 秒によりランニングモードに入り下記の資料が得られます。

■資料図 1 :



 ランニングモードを示します。

 GPS 信号強度を示します。

 充電中を示します。

左図のように距離 320m。

平均速度 4.5kmh.運動時間 4 分 14 秒が得られます。

Save as POI を選択し右キー長押し 2-3 秒により POI(点記録)設定に入ります



Save as POI を選択し右キー長押し 2-3 秒で点記録に入ります

Save as POI を選択し右キー長押し 2-3 秒により記録画面に入り下記が表示されます:



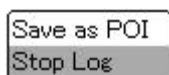
点記録位置形態を選択できます。

選択完了後右キー長押しすると

13:48:52	
Distance	
320 m	
Avg Spd	Duration
4.5	0:04 ₁₄

に戻ります

Stop Log を選択し右キー長押し 2-3 秒により設定に入ります



で画面が



に戻ります

ランニングモード OFF
衛星測位 OFF

■資料図 2 :

13:48:52	
Distance	
320 m	
Avg Spd	Duration
4.5	0:04 ₁₄

右キー短押しで画面を

14:08:19	
Speed	
0.0 kph	
Avg Spd	Max Spd
8.0	9.2

に切換えます

14:08:19	
Speed	
0.0 kph	
Avg Spd	Max Spd
8.0	9.2

左図のように現在の速度 0 km/h。
平均速度 8km/h.最大速度 9.2 km/h です。

Save as POI 選択右キー長押し 2-3 秒で POI(点記録)設定に入ります



Save as POI を選択し右キー長押し 2-3 秒で点記録に入ります

Save as POIを選択し右キー長押し2-3秒で点記録画面に入り下記が表示されます:



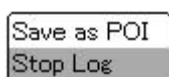
点記録位置形態を選べます。

選択後右キーを長押しすると



に戻ります

Stop Log 選択右キー長押し 2-3 秒で設定に入ります



で画面が



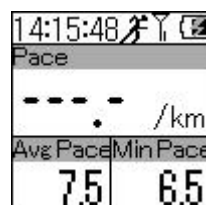
に戻ります

ランニングモード OFF
衛星測位 OFF

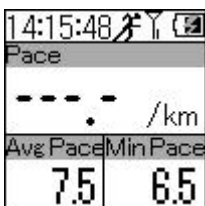
■資料図 3 :



右キー短押しで画面を



に切換えます



左図のように資料にはキロメートル当たり所要時間、平均所要時間 7.5、最少キロメートル当たり所要時間 6.5 が表示されます。

Save as POI を選択し右キー長押し 2-3 秒で POI(点記録)設定に入ります



Save as POI を選択し右キー長押し 2-3 秒で点記録に入ります

Save as POIを選択し右キー長押し2-3秒で点記録画面に入り下記が表示されます:



点記録位置型態が選べます。

選択完了後右キー長押しすると

14:15:48 ㊦ ㊧ ㊨	
Pace	
---.- /km	
Avg Pace	Min Pace
7.5	6.5

に戻ります

Stop Log を選択し右キー長押し 2-3 秒で設定に入ります

Save as POI
Stop Log

で画面が



㊦ ランニングモード OFF

に戻ります ㊧ 衛星測位 OFF

■資料図 4 :

14:15:48 ㊦ ㊧ ㊨	
Pace	
---.- /km	
Avg Pace	Min Pace
7.5	6.5

右キー短押しで画面を

14:32:07 ㊦ ㊧ ㊨	
Altimeter	
60.3 m	
Ascent	Grade
8.4	0%

に切換えます

14:32:07 ㊦ ㊧ ㊨	
Altimeter	
60.3 m	
Ascent	Grade
8.4	0%

左図のように資料には高度 60.3 メートル、トータル上昇高度 8.4、勾配 0 が表示されます

Save as POI を選択し右キー長押し 2-3 秒で POI(点記録)設定に入ります

Save as POI
Stop Log

Save as POI を選択し右キー長押し 2-3 秒で点記録に入ります

Save as POIを選択し右キー長押し2-3秒で点記録画面に入り下記が表示されます:



点記録位置型態が選べます。

選択完了後右キー長押しすると

14:32:07 ㊟ ㊞ ㊚	
Altimeter	
60.3 m	
Ascent	Grade
8.4	0%

に戻ります

Stop Log を選択し右キー長押し 2-3 秒で設定に入ります

Save as POI
Stop Log

で画面が



㊟ ランニングモード OFF

に戻ります

㊞ 衛星測位 OFF

■資料図 5 :

14:32:07 ㊟ ㊞ ㊚	
Altimeter	
60.3 m	
Ascent	Grade
8.4	0%

右キー短押しで画面を

14:33:13 ㊟ ㊞ ㊚	
Calories	
57.1 Kca	
Steps	Temp.
25	28°C

に切換えます

14:33:13 ㊟ ㊞ ㊚	
Calories	
57.1 Kca	
Steps	Temp.
25	28°C

左図のように資料には消費カロリー57.1、歩数 25、気温 28 が表示されます

Save as POI を選択し右キー長押し 2-3 秒で POI(点記録)設定に入ります

Save as POI
Stop Log

Save as POI を選択し右キー長押し 2-3 秒で点記録に入ります

Save as POIを選択し右キー長押し2-3秒で点記録画面に入り下記が表示されます:



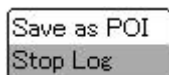
点記録位置型態が選べます。

選択完了後右キー長押しすると



に戻ります

Stop Log を選択し右キー長押し 2-3 秒で設定に入ります



で画面が



ランニングモード OFF

に戻ります

衛星測位 OFF

■資料図 6 :



右キー短押しで画面を



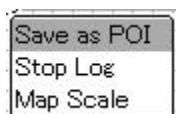
に切換えます



以前 POI で点記録をしたことがある場合.

左図のように移動状況が見えます

Save as POI を選択し右キー長押し 2-3 秒で POI(点記録)設定に入ります



Save as POI を選択し右キー長押し 2-3 秒で点記録に入ります

Save as POIを選択し右キー長押し2-3秒で点記録画面に入り下記が表示されます:



点記録位置型態が選べます。

Stop Log を選択し右キー長押し 2-3 秒で設定に入ります

Save as POI
Stop Log

で画面が



ランニングモード OFF

に戻ります

衛星測位 OFF

選択完了後右キー長押しすると



に戻ります

Save as POI
Stop Log
Map Scale

Map Scale 選択右キー長押し 2-3 秒で縮尺を設定

Map Scale
5
6
0

選択完了後右キー長押しすると



に戻ります

資料図 7 :



右キー短押しで画面を



に切換えます



左図のように衛星測位状況が見られます

Save as POI を選択し右キー長押し 2-3 秒で POI(点記録)設定に入ります



Save as POI を選択し右キー長押し 2-3 秒で点記録に入ります

Save as POIを選択し右キー長押し2-3秒で点記録画面に入り下記が表示されます:



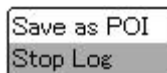
点記録位置型態が選べます。

選択完了後右キー長押しすると



に戻ります

Stop Log を選択し右キー長押し 2-3 秒で設定に入ります



で画面が



ランニングモード OFF

に戻ります

衛星測位 OFF

画面
ます



右キー短押しで最初の画面

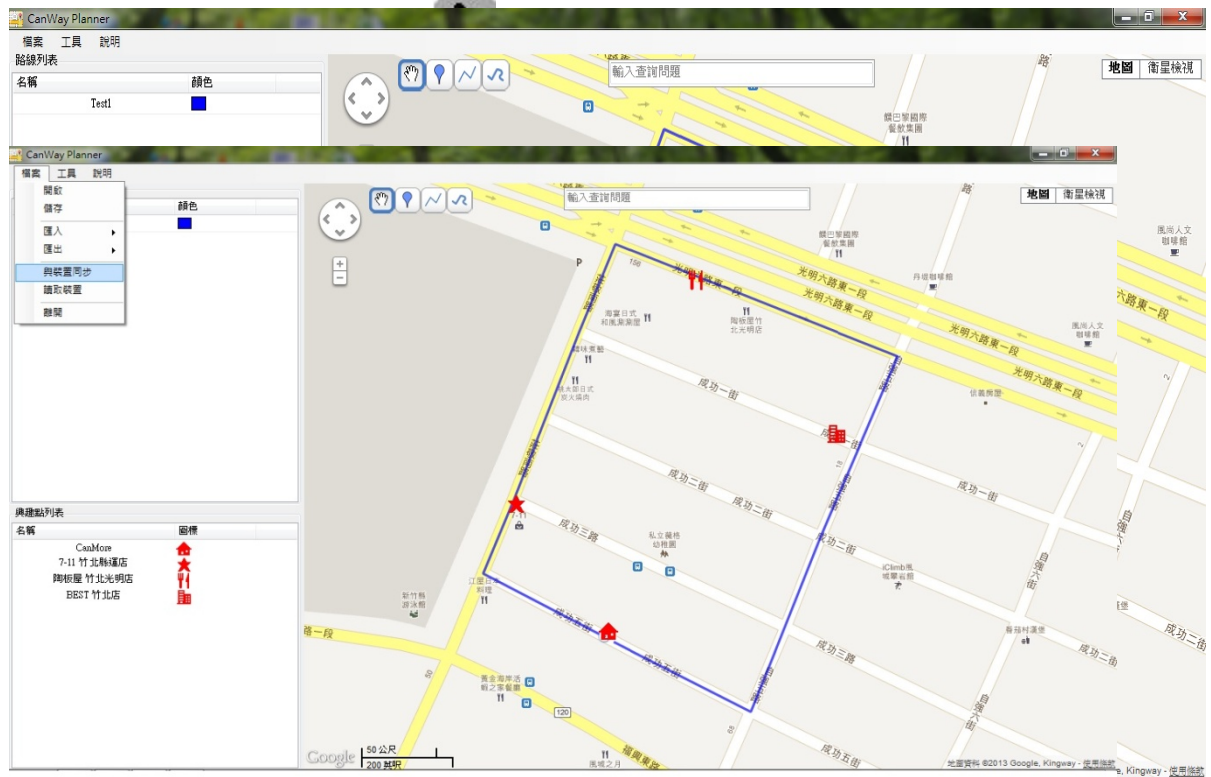


に戻り

ユーザは軌跡点記録資料を CANWAY ソフトウェアに読込むと更に詳細な分析ができます。

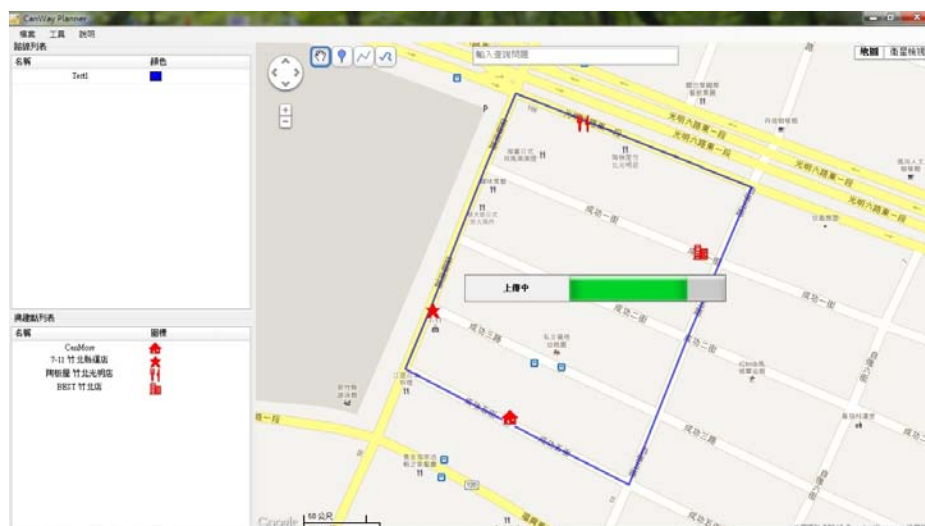
第四章 経路企画モード（ を選択し右キー長押し 2-3 秒で下記のように設定に入ります）

1.まず CanWay Planner で必要とする経路を編集しておきます

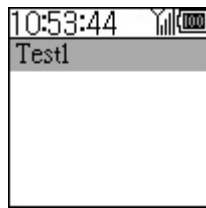


2.「装置との同期の選択項」により資料を GP-102 にアップロードします

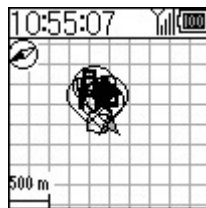
3.経路アップロード中



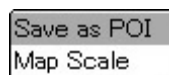
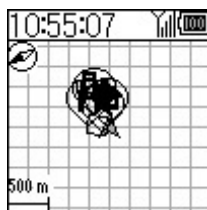
4. 右キー長押しにより経路企画モードに入ると、PC からアップロードした経路 Test1 が見えます



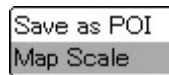
5. open sky で GPS の信号が受信でき、且つ測位された状態下で、右キー長押しすると企画経路 Test1 に入ります



6. 右キー長押しで選択項に入り、Save as POI か Map Scale が選択できます

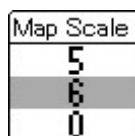
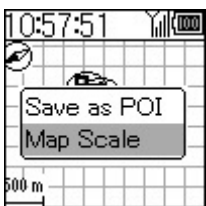


Save as POI を選択すると POI を保存できます

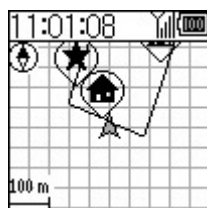


Map Scale を選択すると表示図のサイズが調整できます

7. 長押しで Map Scale に入り、左右キーを押すと表示図のサイズが調整できます。



8. 調整完了後 Test1 の企画経路が表示でき、CanWay Planner に興味点が設定してあれば、共に図面上に表示されます。



左キー長押し 2-3 秒で一番最初の画面に戻ります

第五章 マークモード ( を選択し右キー長押し 2-3 秒で下記のように設定に入ります)



下記のように右キー長押し 2-3 秒で点記録 POI モードに入ります



点記録モード後 衛星測位 ON

0411-1401 以前 4 月 11 日 14 時 1 分に記録した点

New POI を選択し右キー長押し 2-3 秒で下図のように点記録に入ります



点記録位置型態が選べ、 を選択し点記録右キー長押し 2-3 秒後下図の通りです。

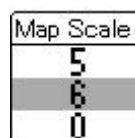


4月11日15時45分に記録された点
と現在の位置方向、距離及び高度



点記録と現在位置との相対図が見られます

右キー長押し 2-3 秒で縮尺設定に入ります



左キー長押し 2-3 秒で前の画面に戻ります



今回の点記録 ★0411-1545 が増えています

左キー長押し 2-3 秒で一番最初の画面

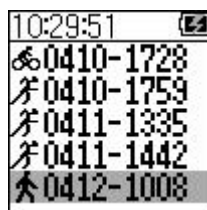


に戻ります

第六章 過去データモード (を選択し右キー長押し 2-3 秒で下のように入ります)



右キー長押し 2-3 秒で下のよう過去データモードに入ります



0412-1008 を選択し右キー長押し 2-3 秒で入ります



資料には移動距離、運動時間、平均速度、平均歩速等が表示されます

右キー短押しで次ページに行きます:



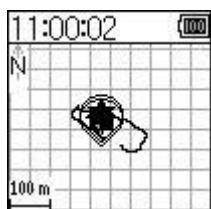
資料には最適速度、最適歩速、上升高度、歩数が表示されます

右キー短押しで次ページに行きます:



資料にはカロリーが表示されます

右キー短押しで次ページに行きます:

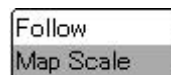


左図の運動軌跡を参考にしてください

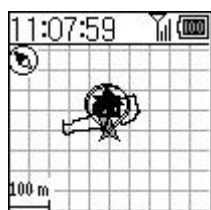
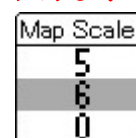
右キー長押し 2-3 秒で過去データ追従モードに入ります



Followを選択し右キー長押し 2-3 秒で過去データを追従します



Map Scale を選択し右キー長押し 2-3 秒で縮尺設定に入ります



追従 表示され、ユーザは左図の軌跡に従えば元の場所に戻れます

左キー長押し 2-3 秒で一番最初の画面に戻ってください



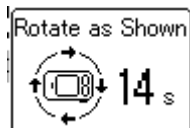
第七章 付加機能モード(に設定に入ります)



を選択し右キー長押しで下記のように



羅針盤が表示されます。右キー長押し 2～3 秒後に羅針盤を校正することができます



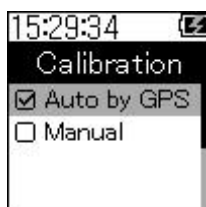
GP102 を図のように 20 秒回転させてください

左キー長押し 2～3 秒後、元のページに戻ります

右キーを押すと下図が表示されます:

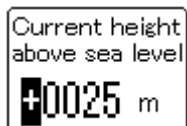
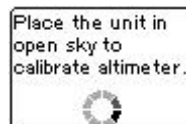


気圧状況が見られます。右キー長押し 2～3 秒後気圧高度を校正できます



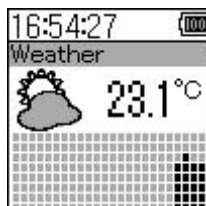
Auto by GPS を選択(自動校正高度重 GPS)

Manual を選択(手動高度校正)



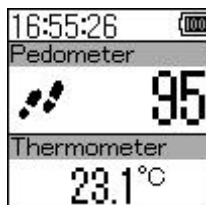
左キー長押し 2～3 秒後に元のページに戻ります

右キーを押すと下図が表示されます:

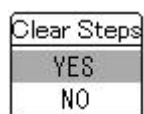


天気状況が見られます

右キーを押すと下図が表示されます:



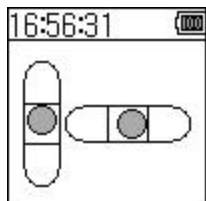
歩数計が見られます。右キー長押し 2～3 秒後に歩数計を校正できます



計歩計をクリアできます

左キー長押し 2～3 秒後元のページに戻ります

右キーを押すと下図が表示されます:



水準器が見られます

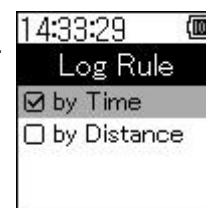
第八章 システム設定 (を選択し右キー長押しで下記のように設定に入ります)



1. Log に入ります:



Log Rule を選択し右キー長押しします



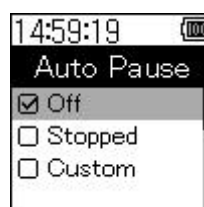
Log Rule は時間を基準及び距離を基準にして記録するよう設定できます



Delete All Log ですべての記録資料がクリアできます

左キー長押し 2~3 秒後に元のページに戻ります

2. Auto Pause に入ります(点記録の自動一時停止):



Off: 点記録自動一時停止の取消し

Stopped: 移動速度が 1.5kmh より小さい場合に点記録を一時停止するようシステム設定します

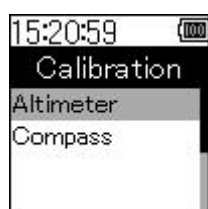
Custom: ユーザーが移動速度と点記録一時停止との関係を設定します



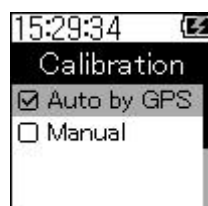
3. User Profile (ユーザ個人資料) に入ります:



4. Calibration (気圧計の校正及び羅針盤の校正) に入ります:



Altimeter(気圧計の校正)を選択し右キー長押しします:

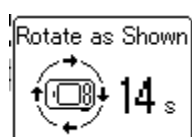


Auto by GPS を選択(自動校正高度重 GPS)

Manual を選択(高度の手動校正)

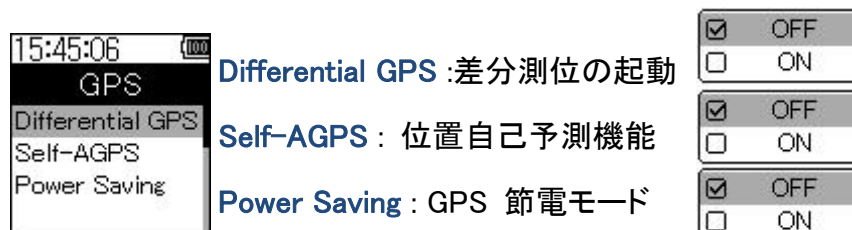


Compass を選択し(羅針盤の校正)右キーを長押しします:



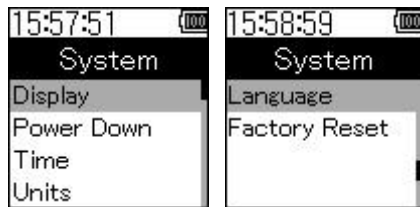
GP102 を図のように 20 秒回転させてください

5. GPS (GPS 状態設定) に入ります:



左キー長押し 2~3 秒後に元のページに戻ります

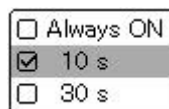
6. System (システム状態設定) に入ります:



A. **Display** を選択し右キーを 2～3 秒 押すと設定ページに入ります

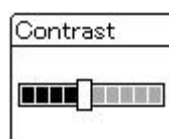


Backlight を選択し右キーを 2～3 秒押すとバックライト設定ページに入ります



常時点灯、10 秒点灯後バックライト消灯等に設定できます

Contrast を選択し右キーを 2～3 秒押すとコントラスト設定ページに入ります



スクリーンのコントラストを調整できます

左キー長押し 2～3 秒後の元のページに戻ります

B. **Power Down** を選択し右キーを 2～3 秒 押すと設定ページに入ります



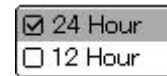
G-Sensor を起動し 5 分間検知して移動がない場合、システムをスリープ状態にするように選択できます。

左キー長押し 2～3 秒後に元のページに戻ります

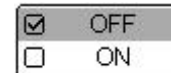
C. **Time** を選択し右キーを 2～3 秒 押すと設定ページに入ります



Format を選択し右キーを 2～3 秒押すと時間計画設定ページに入ります



Daylight Saving を選択し右キーを 2～3 秒押すとサマータイム設定ページに入ります



左キー長押し 2～3 秒後に元のページに戻ります

D. Units を選択し右キーを 2～3 秒 押すと設定ページに入ります



使用する単位を選択できます

左キー長押し 2～3 秒後に元のページに戻ります

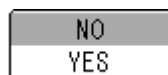
E. Language を選択し右キーを 2～3 秒 押すと設定ページに入ります



使用する言語を選択できます

左キー長押し 2～3 秒後に元のページに戻ります

F. Factory Reset を選択し右キーを 2～3 秒 押すと設定ページに入ります



YES を選択して工場出荷設定に戻すことを確認して、GP-102 を再起動してください。電源を切った後再度電源を起動してください。

付録

包装内容物は下記の通りです

GP-102+

ソフトウェア CD/ユーザーズマニュアル

USBケーブル

安全についての注意事項

- 子供を GPS 受信機で遊ばせないでください。小部品が脱落して窒息する危険があります
- すべての電子製品規範を遵守し、指定地区では電気設備や RF 無線電気製品を OFF にしてください
- 当製品はリチウムポリマー電池を使用しているため、火や高温になる場所から離してお使いください
- (廃棄された設備を含む)や電池は爆発する可能性があります
- 内蔵の電池は適切に処理或いは回収できるようにし、回収センターに現地の処理方法を問い合わせてください

電池通電事項

約 2 時間で内蔵電池を満充電にすることができます。まず USB 線の mini-USB 端子を GP-102+ の USB 接続ポートに接続します。次に USB 線のもう一方の端子を旅行用充電器や PC やノート PC の USB 接続ポートに接続します。充電時、充電指示灯が点灯します。電池満充電後、充電指示灯は消灯し青色灯になります。この時、USB 充電線を取り外すことができます。



電池警告

以下の準則を守らない場合、内蔵の充電可能電池は寿命の短縮、発火の危険、化学損傷、電池の液漏れ、又は負傷を招く可能性があります。

1. $-20^{\circ}\text{C} \sim 60^{\circ}\text{C}$ ($-4^{\circ}\text{F} \sim 140^{\circ}\text{F}$) の環境下で GP-102+ を使用すること。
充電時は $0^{\circ}\text{C} \sim 45^{\circ}\text{C}$ ($32^{\circ}\text{F} \sim 113^{\circ}\text{F}$) で GP-102+ を使用すること。
2. 長時間の保存は、 $-10^{\circ}\text{C} \sim 45^{\circ}\text{C}$ ($14^{\circ}\text{F} \sim 113^{\circ}\text{F}$) の環境で保存すること。

充電電源規格

安全のため、以下の充電電源のみを使用してください：

- 標準卓上型又はノート型 PC の USB 接続ポート。
- 車用 USB 充電アダプタ：入力 12V、出力 5.0V。
- 室内 USB 充電アダプタ：入力 110/220V、出力 5.0V。

よくある質問

Q1: なぜ私の GP-102+ は測位ができないのですか？

A1: GP-102+ を戸外で使用しているか、LCD スクリーンを上に向け、空が遮られていないか確かめてください。

Q2: なぜ測位が早かったり遅かったりするのですか？

A2: 空が広く遮るものがない環境下で、GP-102+ を起動する前の 2 時間以内に使用したことがある場合、測位は早くなりますが、それ以外は 30 ～ 40 秒かかることがあります。木陰、ビルの影又は GPS 信号が微弱な環境下では、測位に数分かかることがあります。

Q3: なぜデジタル指北針の方向が不正確になるのですか？

A3: GP-102+ のデジタル指北針校正がすでに行われており且つ周囲に金属物体がないことを確かめてください。GP-102+ 内蔵のデジタル指北針は磁気誘導装置であるため、周囲の金属物体の影響を受けやすくなっています。

Q4: 低速移動の車内で使用した場合、なぜ方向指示が不正確になるのですか？

A4: 移動速度が < 10 キロメートル/時 の場合、GP-102+ はデジタル指北針を使用して目的地の方向を計算します。車内の場合、車体金属の影響を受けてデジタル指北針の方向が不正確になる可能性があります。移動速度 > 10 キロメートル/時 の場合、GP-102+ は GPS を使用して目的地の方向を計算するため、GP-102+ を車の走行方向と水平に置けば、走行方向が正確に表示されます。

Q5: 衛星図示の数はどんな意味ですか？

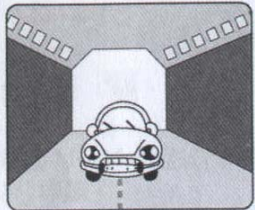
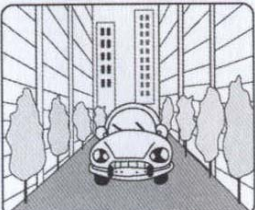
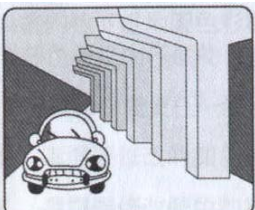
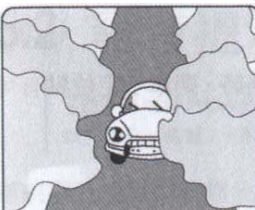
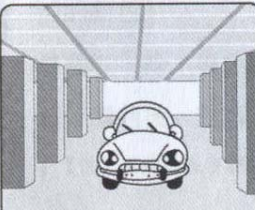
A5: 衛星の数は測位精度と関係があります、衛星の数が多いほどたくさんの衛星信号を受信したことを示し、測位精度が高くなります。信号が弱い環境では、測位する前に少し待てばよりたくさんの衛星の数が得られ、測位精度が高くなります。

Q6: GP-102+ を OFF にした場合、設定した位置を覚えているのですか？

A6: GP-102+ を OFF にして節電することができます、すべての設定位置は記憶されます。次回起動した時、GP-102+ は最後に使用したモードを表示します。電力を使い切ったとしても、GP-102+ は以前設定した資料を覚えています。

信号が弱い状況

下記の状況で信号が弱い或いは電波が届かない状況になる：

	➤ トンネル内に電波が届かなくて信号がない。
	➤ 高楼の間で恐らく弱いことになる、あるいは信号に影響する。
	➤ 上方に物を覆い隠して恐らく電波による信号が微弱なことになる。
	➤ 林の中で、あるいは上方に物が多く覆い隠しいるので、恐らく電波による信号が微弱なこと、あるいは信号に影響する。
	➤ 橋の下で恐らく電波による信号が微弱なことになる。

- もし、あなたは自動車の内で衛星の定位システム装置を使用するならば、金属の含有量が高い断熱紙は恐らく電波による信号に微弱になる可能性がある。
- 位置を測定する衛星が米国の軍事に所有で、いくつかの特殊な原因で米国の軍事側は恐らく衛星の電波を下げる可能性があるので、このような状況で、定位が不正確になる場合もある。



この製品は今の環境保護の規則によって処理しなければなりません。使用者は製品を廃止する時、あなたに販売した店へ回収するか、または合格の回収センターへ処理して下さい。

RoHS **CE** **FC**

製品保証

CANMORE製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。GP-102+ はCANMORE自社生産グローバル販売の衛星測位受信機です。本製品は工場出荷時、すべて厳しい品質検査に合格しています。当社は以下の内容を保証します:

1. 当社は製品アフターサービスを行い、お客様の正常使用において故障が発生した場合、ご購入日より一年以内無料で修理いたします。保証期間は一年です。
2. 保証期間中下記の状況が発生した場合は、当社の保証範囲外です
 - A.天災、火災、地震等による不可抗力及び人為的処理上のミス
 - B.自身で分解修理、改装を行った場合
 - C.部品付属品及び消耗品の自然損耗
 - D.購入後の運送移動、落下により発生した故障又は損傷
 - E.保証期間が過ぎた後の故障又は損傷
 - F.本保証書の文面を修正変更した場合
3. 製品に使用上の問題がある又は修理が必要な場合、ご購入された場所又は弊社までご連絡ください。